

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 7 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (1 3)	備蓄食は保管場所を検討し、施設全体で利用者・職員分の3日以上の水や食料を確保すること	グループホームご利用者個人居室にも備蓄食を確保し、また施設全体としては、保管場所の検討を行い、備蓄数を増やすこととする。	①利用者個人居室には、水・ゼリーを個人購入として確保 →内容を検討し、増量。 ②食材契約会社の契約内容の変更もあるが、食材の確保をセントラルキッチンで確保している。 ③現状の施設内保管場所に、水・乾パン・ごはん・レトルトカレー・ハヤシライスを新たに購入。その他、保管場所の確保を拡大できるよう検討。	1～12ヶ月
2		屋上等に設置可能な発電機の具体化	非常時に備え、施設内での生活に困らない程度の電源を確保する事。	大型発電機の導入はすぐには困難であるが、ポータブル充電器・小型蓄電池等の購入設置	1～12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。